

「京都いのちの日」シンポジウムについて

1 趣 旨

自らの命を見つめ直すとともに、周りの人にも思いをはせ、共に生きるものの意味や絆の大切さについて今一度立ち止まって考える日として、悩み苦しむ人を孤立させず、暖かく包み込む共生社会の実現に向け、府民の自殺対策に関する関心と理解を深め、府民運動として自殺対策を推進する気運を醸成

2 開催案

○日 時 平成 28 年 3 月 1 日(火)

○場 所 アバンティ響都ホール (定員 350 人)

○プログラム

①基調講演

自殺を自分には関係のない他人事と捉えている方などに「自殺の危機は何人にも発生し得る」ということを理解してもらえるよう「いのち」をテーマに講演

②シンポジウム

北部、中部、南部の各地域においてもリレー・シンポジウムを開催

3 関連事業

京のいのち支え隊等による関連事業など「オール京都」体制で自殺対策を推進

<広報・啓発>

- ・市町村、京のいのち支え隊で街頭啓発活動の実施
- ・府内書店でのブックフェア「いのちを守りたいフェア」の実施 など

<人材養成>

- ・ゲートキーパー研修、ステップアップ研修の実施
- ・民間団体等の人材確保、スキルアップを支援する支援人材交流会 など

<相談・支援>

- ・京のいのち支え隊「くらしとこころの総合相談会」の開催
- ・自死遺族のための居場所 京風 Café de Monk きょうのモンクの開催 など